

報道関係各位

平成 23 年 年頭社長挨拶(要約)

株式会社 ツムラ

株式会社 ツムラ

コーポレート・コミュニケーション室

広報グループ 担当：中島 実

TEL 03-6361-7100

## 会社の状況をよく理解し、方針に沿って行動する

新年、あけましておめでとうございます。

当社の業績は順調に推移し、経営基盤はいつそう強固なものとなっています。これは、皆さん一人一人の経営改善意識の高まりや、予算の管理・業務執行に対し、真摯に取り組んだ結果であると考えています。皆さんの努力に対し、心から感謝いたします。

2011年度（平成23年度）は、2009年度（平成21年度）にスタートした中期計画の最終年度であり、新しい中期計画作成の年でもあります。新中期計画については、これまでと同様に今後10年間の数量ベースの推移を予測し、設備投資時期等を検討した上で、3年間の中期計画の策定を行ないます。

6つの活動目標「漢方医学の確立」「育薬の推進」「漢方の国際化」「生産能力の増強と品質管理体制の充実」「安全な生薬の安定確保」「開かれた会社の創造」は今後も継続して参ります。何故なら、これらの目標はツムラの基本としてあるべき姿を追求していくものだからです。

「開かれた会社の創造」については、常々、私たちの事業は、医薬品を製造・販売している事業と、原料生薬を生産している農業に深く関わっており、この二つの事業を通じて、「社会や人々のお役に立てる企業」「人に優しい企業」でありたいと願っています。企業は、ただ単に利益を出せばいいというものではなく、社会の中で事業を営む以上、積極的に社会との関わりを持つ必要があるとの思いからこのような企業目標を設定しています。

開かれた会社ということに関して、社内については、「いま会社はどのような方向に向っているのか」全社員が会社の状況をよく理解し、会社の方針に沿って行動できることが、強い会社の証だと思うからです。

全社でコミュニケーションをとっていくことが重要であり、開かれた会社を創造する第一歩だということをお覚えておいていただきたいと思います。その為に、昨年、担当の役員から各々の活動目標についての進捗状況、そして何のためにその活動目標を設定したかについての背景、目的の話しがあったと思います。社員全員がベクトルを合せて、今年も頑張っていきましょう。

年頭にあたり、ツムラの現状や、今後取り組むべき課題等について、お話ししました。会社が本当にいい方向に進んでいることは、お話しした通りです。

しかし、「もう大丈夫」と思った時こそ、どこかに緩みが出てしまうものです。気を引き締めて、今年も一年、頑張っていきましょう。

以上